

奈良県知事 殿

学校法人大原学園

理事長 大原 敏敬

## 大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る申請書

## ○申請者に関する情報

大学等の名称	大原和服専門学園
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校・ <b>専門学校</b> )
大学等の所在地	奈良市富雄元町1丁目13-41
学長又は校長の氏名	大原 敏敬
設置者の名称	学校法人大原学園
設置者の主たる事務所の所在地	奈良市富雄元町1丁目13-41
設置者の代表者の氏名	大原 敏敬
申請書を公表する予定のホームページアドレス	<a href="https://www.ohhara.ac.jp">https://www.ohhara.ac.jp</a>

※ 以下のいずれかの□にレ点(☑)を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第1項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第5条第3項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点(☑)を付けて下さい。

 この申請書(添付書類を含む。)の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律(以下「大学等修学支援法」という。)に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。 この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取

り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	学園長 大原敏敬	0742-47-1111	nori@ohhara.ac.jp
第2号の1	学園長 大原敏敬	0742-47-1111	nori@ohhara.ac.jp
第2号の2	学園長 大原敏敬	0742-47-1111	nori@ohhara.ac.jp
第2号の3	学園長 大原敏敬	0742-47-1111	nori@ohhara.ac.jp
第2号の4	学園長 大原敏敬	0742-47-1111	nori@ohhara.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

## 申請情報

### 1. 申請年度

2023

### 2. 申請区分

確認申請（新規）

### 3. 設置者に関する情報

設置者の法人類型	学校法人
設置者の名称	学校法人大原学園
設置者の主たる事務所の所在地	奈良市富雄元町1丁目13-41
設置者の代表者の役職	理事長
設置者の代表者の氏名	大原 敏敬

### 4. 大学等に関する情報

大学等の種類	私立専門学校
大学等の名称	大原和服専門学園
大学等の所在地	奈良市富雄元町1丁目13-41
学長又は校長の氏名	大原 敏敬

### 5. 申請書を公表する予定のホームページアドレス

<https://www.ohhara.ac.jp>

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入 (A)	経常支出 (B)	差額 (A) - (B)
申請前年度の決算	99,563,651円	89,977,054円	9,586,597円
申請2年度前の決算	90,218,846円	118,384,403円	-28,165,557円
申請3年度前の決算	85,285,457円	88,719,095円	-3,433,638円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産 (C)	外部負債 (D)	差額 (C) - (D)
申請前年度の決算	36,350,932円	293,056,591円	-256,705,659円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員 (E)	在学生等の数 (F)	収容定員充足率 (F) / (E)
今年度 (申請年度)	470人	32人	6%
前年度	470人	41人	8%
前々年度	470人	34人	7%

(IIの補足資料) 「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	資産の内容	申請前年度の決算における金額

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の名称	負債の内容	申請前年度の決算における金額

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

1. 高等教育の修学支援新制度の対象となる学部等

分野	課程名	学科名	修業年限	昼夜	時間制 単位制
服飾・家政	家政専門	和裁科	2年	昼間	時間制
服飾・家政	家政専門	和裁研究科	4年	昼間	時間制
服飾・家政	家政専門	和裁専攻科	1年	昼間	時間制
服飾・家政	家政専門	着物染織科	3年	昼間	時間制
服飾・家政	家政専門	着物工芸科	2年	昼間	時間制
(上記学科のうち、募集停止や完成年度到達前の学部等)					
なし					

2. 支援対象者が在籍できない学部等

分野	課程名	学科名	理由

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※ 専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
家政専門	和裁科	夜・通信	515 単位時間	160単位時間	
家政専門	和裁研究科	夜・通信	515 単位時間	320単位時間	
家政専門	和裁専攻科	夜・通信	798 単位時間	80単位時間	
家政専門	着物染織科	夜・通信	553 単位時間	240単位時間	
家政専門	着物工芸科	夜・通信	553 単位時間	160単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当学園のHP内の情報公開ページにて公表する。  
<https://www.ohhara.ac.jp/about/disclosure.php>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の1-②関係【実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》】

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

学科名	和裁科	
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数
着装 I	25 単位時間	160単位時間
和裁実習 基本製作・製作実習 I	490 単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
単位数又は授業時数の合計	515 単位時間	

学科名	和裁研究科	
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数
着装 I	25 単位時間	320単位時間
和裁実習 基本製作・製作実習 I	490 単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
単位数又は授業時数の合計	515 単位時間	

学科名	和裁専攻科	
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数
和裁実習 課題製作・実習	778 単位時間	80単位時間
きもの専門実習・着装	20 単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
単位数又は授業時数の合計	798 単位時間	

学科名	着物染織科	
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数
着装 I	25 単位時間	240単位時間
グラフィックツール実習 I	110 単位時間	
織物実習 I	418 単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
	単位時間	
単位数又は授業時数の合計	553 単位時間	

学科名	着物工芸科		
実務経験のある教員等による授業科目名	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	
着装 I	25 単位時間	160単位時間	
グラフィックツール実習 I	110 単位時間		
織物実習 I	418 単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
	単位時間		
単位数又は授業時数の合計	553 単位時間		

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php">https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	京友禅伝統工芸士	2021.6.1 ~ 2024.5.31	着物の業界特に染色に関わり培ってきた見識で学校運営に対し提言や助言を期待する
非常勤	呉服小売りメーカー 代表取締役	2021.6.1 ~ 2024.5.31	着物の業界において織物メーカー及び小売業を経営し培ってきた見識で学校運営に対し提言や助言を期待する
非常勤	一般社団法人 理事長	2021.6.1 ~ 2024.5.31	着物の業界において着付け教室の免許を発行する社団法人に関わり培ってきた見識で学校運営に対し提言や助言を期待する
(備考)			



様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が授業目的・授業時間数と評価の観点をまとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p><a href="https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php">https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・C・D・不可で評価し、A(100～90) B(89～80) C(79～70) D(69～60)を可とし、(59～)は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由により試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を行う。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

各科目のA～Dの評価(Aは5点・Bは4点・Cは3点・Dは2点)と各科目の授業時間数をかけて合計し、総授業時間数で割って評点を算出をする。これをもとに成績分布状況を把握する。なおこの成績の算出方法は、当学園のHP内情報公開ページにて公表する。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき全学生の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部全体で審議し、学園長が認定をする。

■大原和服専門学園・卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー) 学科共通

○卒業の認定方針

本学園の教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する」および教育目標の達成に向けて、各学科の所定の科目を履修し、下記に定める卒業の要件を満たすことにより卒業を認定する。

(1) 長い歴史のある着物の技術を継承できる知識と技術を修得している。  
(2) 時代の要請に対応できる柔軟性と実践力を持ち、関係する人々と協働することができる。

(3) 一般の人に対して、着物についてわかりやすく伝えることができる。

(4) 絶えず向上心をもって主体的に学び自己の研鑽に励むことができる。

(5) 他者を思いやる豊かな人間性を磨き、与えられた役割を責任感を持って取り組むことができる。

○卒業の要件

・各学科の教育課程に定められた科目を修了し、総合評定がC以上であること。

・欠席日数が年間総授業日数の4分の1を超えていないこと。

○卒業の認定

・卒業の要件を満たしているかは、卒業進級判定会議にて審議し、学園長が認定する。

卒業の認定に関する方針は、当学園のHPにて公開をしている(令和5年度は8月末に公開予定)。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※ 専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原和服専門学園
設置者名	学校法人大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php">https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php">https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php</a>
財産目録	<a href="https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php">https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php</a>
事業報告書	<a href="https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php">https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php">https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門	和裁科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	3,157	139	0	3,018	0	0
			単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
		単位時間	3157 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		7人	0人	3人	17人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が授業目的・授業時間数と評価の観点をもとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・C・D・不可で評価し、A(100～90) B(89～80) C(79～70) D(69～60)を可とし、(59～)は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由により試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を行う。

#### 卒業・進級の認定基準

(概要)

大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき全学生の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部全体で審議し、学園長が認定をする。

■大原和服専門学園・卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー) 学科共通

○卒業の認定方針

本学園の教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する」および教育目標の達成に向けて、各学科の所定の科目を履修し、下記に定める卒業の要件を満たすことにより卒業を認定する。

- (1) 長い歴史のある着物の技術を継承できる知識と技術を修得している。
- (2) 時代の要請に対応できる柔軟性と実践力を持ち、関係する人々と協働することができる。
- (3) 一般の人に対して、着物についてわかりやすく伝えることができる。
- (4) 絶えず向上心をもって主体的に学び自己の研鑽に励むことができる。
- (5) 他者を思いやる豊かな人間性を磨き、与えられた役割を責任感を持って取り組むことができる。

○卒業の要件

- ・各学科の教育課程に定められた科目を修了し、総合評定がC以上であること。
- ・欠席日数が年間総授業日数の4分の1を超えていないこと。

○卒業の認定

・卒業の要件を満たしているかは、卒業進級判定会議にて審議し、学園長が認定する。卒業の認定に関する方針は、当学園のHPにて公開をしている(令和5年度は8月末に公開予定)。

#### 学修支援等

(概要)

特待生制度(入学後2年次以降)・家庭の経済的な要件による授業料減額支援制度(初年度のみ)・教材支給制度・研究助成金

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 着物、和装ブライダル、法衣装束、時代衣裳舞台衣裳、和装小物などの分野に就職。主にものづくりに関わる職種についている。			
（就職指導内容） キャリアガイダンスにより就職進路の決めるまでの流れを指導し、最終学年の学生には、個別進路指導を適時おこない、就職担当者及び担任、講師と連携しながら学生の希望とスキル等を加味して進路決定まですすめている。学生の希望が学園の求人票にない場合でも学園のネットワークを利用し求人への掘り起こしも行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） （国）和裁技能士3級・和裁検定初級・きもの文化検定・色彩検定・服飾准教員			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	2人	28.6%
（中途退学の主な理由） 1年次に退学者がでており、発達障害や精神疾患など持病により登校が難しい学生が退学につながっている。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席状況や学習状況で問題がある学生については、保護者とも連絡をとり相談をしながら対応をしている。また、学習障害や精神的な課題を抱える学生については、専門機関や病院で定期的に診察してもらうなど学生生活と病気の克服の両立をはかり、難しい場合は休学等案内し、回復してから復学するように指導をしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門	和裁研究科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	6,363 単位時間	167 単位時間	0 単位時間	6,196 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			6363 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
220人		9人	0人	3人	17人	20人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が授業目的・授業時間数と評価の観点をもとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・C・D・不可で評価し、A（100～90）B（89～80）C（79～70）D（69～60）を可とし、（59～）は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由により試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を行う。

卒業・進級の認定基準

（概要）

大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき全学生の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部全体で審議し、学園長が認定をする。

■大原和服専門学園・卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）学科共通

○卒業の認定方針

本学園の教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する」および教育目標の達成に向けて、各学科の所定の科目を履修し、下記に定める卒業の要件を満たすことにより卒業を認定する。

- （1）長い歴史のある着物の技術を継承できる知識と技術を修得している。
- （2）時代の要請に対応できる柔軟性と実践力を持ち、関係する人々と協働することができる。
- （3）一般の人に対して、着物についてわかりやすく伝えることができる。
- （4）絶えず向上心をもって主体的に学び自己の研鑽に励むことができる。
- （5）他者を思いやる豊かな人間性を磨き、与えられた役割を責任感を持って取り組むことができる。

○卒業の要件

- ・各学科の教育課程に定められた科目を修了し、総合評定がC以上であること。
- ・欠席日数が年間総授業日数の4分の1を超えていないこと。

○卒業の認定

・卒業の要件を満たしているかは、卒業進級判定会議にて審議し、学園長が認定する。卒業の認定に関する方針は、当学園のHPにて公開をしている（令和5年度は8月末に公開予定）。

学修支援等

（概要）

特待生制度（入学後2年次以降）・家庭の経済的な要件による授業料減額支援制度（初年度のみ）・教材支給制度・研究助成金・大会参加費援助

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
着物、和装ブライダル、法衣装束、時代衣裳舞台衣裳、和装小物などの分野に就職。主にものづくりに関わる職種についている。また、国家技能検定和裁技能士1級を目指して学園の委託加工契約を結んでプロとしての技術を高める学生もいる。			
(就職指導内容)			
キャリアガイダンスにより就職進路の決めるまでの流れを指導し、最終学年の学生には、個別進路指導を適時おこない、就職担当者及び担任、講師と連携しながら学生の希望とスキル等を加味して進路決定まですすめている。学生の希望が学園の求人票にない場合でも学園のネットワークを利用し求人への掘り起こしも行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
和裁士・(国)和裁技能士2級・(国)着付け技能士2級・職業訓練指導員免許(和裁)・職業和裁技能検定2級・1級きもの講師・和裁検定上級・3級服飾教員			
(備考)(任意記載事項)			
その他、技能五輪全国大会(和裁職種)等に出場			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	4人	26.7%
(中途退学の主な理由)		
1年・2年次に退学者がでており、発達障害や精神疾患など持病により学習がうまくすすまない場合や進路変更。		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
出席状況や学習状況で問題がある学生については、保護者とも連絡をとり相談をしながら対応をしている。また、学習障害や精神的な課題を抱える学生については、専門機関や病院で定期的に診察してもらうなど学生生活と病気の克服の両立をはかり、難しい場合は休学等案内し、回復してから復学するように指導をしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	家政専門	和裁専攻科					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	1,578	18	0	1,560	0	0
		単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
		単位時間	1578 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	3人	0人	3人	2人	5人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が授業目的・授業時間数と評価の観点をもとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。

成績評価の基準・方法

(概要)

成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・C・D・不可で評価し、A(100～90) B(89～80) C(79～70) D(69～60)を可とし、(59～)は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由により試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を行う。

卒業・進級の認定基準

(概要)

大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき全学生の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部全体で審議し、学園長が認定をする。

■大原和服専門学園・卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー) 学科共通

○卒業の認定方針

本学園の教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する」および教育目標の達成に向けて、各学科の所定の科目を履修し、下記に定める卒業の要件を満たすことにより卒業を認定する。

- (1) 長い歴史のある着物の技術を継承できる知識と技術を修得している。
- (2) 時代の要請に対応できる柔軟性と実践力を持ち、関係する人々と協働することができる。
- (3) 一般の人に対して、着物についてわかりやすく伝えることができる。
- (4) 絶えず向上心をもって主体的に学び自己の研鑽に励むことができる。
- (5) 他者を思いやる豊かな人間性を磨き、与えられた役割を責任感を持って取り組むことができる。

○卒業の要件

- ・各学科の教育課程に定められた科目を修了し、総合評定がC以上であること。
- ・欠席日数が年間総授業日数の4分の1を超えていないこと。

○卒業の認定

- ・卒業の要件を満たしているかは、卒業進級判定会議にて審議し、学園長が認定する。
- 卒業の認定に関する方針は、当学園のHPにて公開をしている(令和5年度は8月末に公開予定)。

学修支援等

(概要)

特待生制度(入学後2年次以降)・教材支給制度・研究助成金・大会参加費援助

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

(主な就職、業界等)
着物、和装ブライダル、法衣装束、時代衣裳舞台衣裳、和装小物などの分野に就職。主にもものづくりに関わる職種についている。
(就職指導内容)
キャリアガイダンスにより就職進路の決めるまでの流れを指導し、最終学年の学生には、個別進路指導を適時おこない、就職担当者及び担任、講師と連携しながら学生の希望とスキル等を加味して進路決定まですすめている。学生の希望が学園の求人票にない場合でも学園のネットワークを利用し求人への掘り起こしも行っている。
(主な学修成果(資格・検定等))
(国)和裁技能士2級・(国)着付け技能士2級・2級きもの講師・和裁検定上級・3級服飾教員
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	1人	50.0%
(中途退学の主な理由)		
体調不良のため		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
出席状況や学習状況で問題がある学生については、保護者とも連絡をとり相談をしながら対応をしている。また、学習障害や精神的な課題を抱える学生については、専門機関や病院で定期的に診察してもらうなど学生生活と病気の克服の両立をはかり、難しい場合は休学等案内し、回復してから復学するように指導をしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		家政専門	着物染織科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	4,760 単位時間	189 単位時間	0 単位時間	4,571 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			4760 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		12人	0人	1人	19人	20人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)

教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が授業目的・授業時間数と評価の観点をもとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。

### 成績評価の基準・方法

(概要)

成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・C・D・不可で評価し、A(100～90) B(89～80) C(79～70) D(69～60)を可とし、(59～)は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由により試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を行う。

### 卒業・進級の認定基準

(概要)

大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき全学生の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部全体で審議し、学園長が認定をする。

■大原和服専門学園・卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー) 学科共通

○卒業の認定方針

本学園の教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する」および教育目標の達成に向けて、各学科の所定の科目を履修し、下記に定める卒業の要件を満たすことにより卒業を認定する。

- (1) 長い歴史のある着物の技術を継承できる知識と技術を修得している。
- (2) 時代の要請に対応できる柔軟性と実践力を持ち、関係する人々と協働することができる。
- (3) 一般の人に対して、着物についてわかりやすく伝えることができる。
- (4) 絶えず向上心をもって主体的に学び自己の研鑽に励むことができる。
- (5) 他者を思いやる豊かな人間性を磨き、与えられた役割を責任感を持って取り組むことができる。

○卒業の要件

- ・各学科の教育課程に定められた科目を修了し、総合評定がC以上であること。
- ・欠席日数が年間総授業日数の4分の1を超えていないこと。

○卒業の認定

- ・卒業の要件を満たしているかは、卒業進級判定会議にて審議し、学園長が認定する。

卒業の認定に関する方針は、当学園のHPにて公開をしている(令和5年度は8月末に公開予定)。

### 学修支援等

(概要)

特待生制度(入学後2年次以降)・家庭の経済的な要件による授業料減額支援制度(初年度のみ)

### 卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人	0人	2人	0人

(100%)	(0.0%)	(100.0%)	(0.0%)
(主な就職、業界等)			
着物、和装ブライダル、法衣装束、時代衣裳舞台衣裳、和装小物などの分野に就職。主に染や織等のものづくりに関わる職種についている。			
(就職指導内容)			
キャリアガイダンスにより就職進路の決めるまでの流れを指導し、最終学年の学生には、個別進路指導を適時おこない、就職担当者及び担任、講師と連携しながら学生の希望とスキル等を加味して進路決定まですすめている。学生の希望が学園の求人票にない場合でも学園のネットワークを利用し求人への掘り起こしも行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
きもの文化検定・色彩検定2級・和裁技術検定中級・3級きもの講師・(国)着付け技能士2級・服飾准教員			
(備考)(任意記載事項)			
その他、デザインコンテストやコンクールに出品			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	4人	25.0%
(中途退学の主な理由)		
発達障害や精神疾患など持病により学習がうまくすすまない場合や登校できないなど。		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
出席状況や学習状況で問題がある学生については、保護者とも連絡をとり相談をしながら対応をしている。また、学習障害や精神的な課題を抱える学生については、専門機関や病院で定期的に診察してもらうなど学生生活と病気の克服の両立をはかり、難しい場合は休学等案内し、回復してから復学するように指導をしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
服飾・家政	家政専門	着物工芸科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	3,157	157 単位時間	0 単位時間	3,000 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
		単位時間	3157 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		1人	0人	1人	13人	14人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)

教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する。」と教育目標及び教育課程編成委員会の提案を踏まえて、教育課程の編成の改善を行い、毎年度始期までに授業科目ごとの特性をふまえて、各担当教員が授業目的・授業時間数と評価の観点をもとめた授業計画書を作成する。授業計画書は、各科目の授業日初日に学生に配布し、毎年度8月末日までに当学園のHPで公表する。

成績評価の基準・方法

(概要)

成績評価は、授業科目ごとの特性をふまえて、授業計画書に記載した出席状況・学習姿勢・課題提出・試験などの評価項目に基づき100点満点で算出し評価を行う。A・B・C・D・不可で評価し、A(100～90) B(89～80) C(79～70) D(69～60)を可とし、(59～)は不可とし再履修とする。忌引きや病欠などの正当な理由により試験等が受験できなかった場合は、追試験を実施する。また、提出課題が成績評価基準に満たない場合や課題提出点数が満たない場合は、補講などにより課題の再提出を行う。

卒業・進級の認定基準

(概要)

大原和服専門学園 卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき全学生の成績状況を踏まえて毎年度12月と2月に卒業進級判定会議を行い卒業進級を学務部全体で審議し、学園長が認定をする。

■大原和服専門学園・卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー) 学科共通

○卒業の認定方針

本学園の教育理念「裁心縫と一生一貫を体現した物心両面にわたり豊かな人生を歩むことができる人材を育成する」および教育目標の達成に向けて、各学科の所定の科目を履修し、下記に定める卒業の要件を満たすことにより卒業を認定する。

- (1) 長い歴史のある着物の技術を継承できる知識と技術を修得している。
- (2) 時代の要請に対応できる柔軟性と実践力を持ち、関係する人々と協働することができる。
- (3) 一般の人に対して、着物についてわかりやすく伝えることができる。
- (4) 絶えず向上心をもって主体的に学び自己の研鑽に励むことができる。
- (5) 他者を思いやる豊かな人間性を磨き、与えられた役割を責任感を持って取り組むことができる。

○卒業の要件

- ・各学科の教育課程に定められた科目を修了し、総合評定がC以上であること。
- ・欠席日数が年間総授業日数の4分の1を超えていないこと。

○卒業の認定

・卒業の要件を満たしているかは、卒業進級判定会議にて審議し、学園長が認定する。卒業の認定に関する方針は、当学園のHPにて公開をしている(令和5年度は8月末に公開予定)。

学修支援等

(概要)

特待生制度(入学後2年次以降)・家庭の経済的な要件による授業料減額支援制度(初年度のみ)

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)

<p>(主な就職、業界等)</p> <p>着物、和装ブライダル、法衣装束、時代衣裳舞台衣裳、和装小物などの分野に就職。主に染や織等のものづくりに関わる職種についている。</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>キャリアガイダンスにより就職進路の決めるまでの流れを指導し、最終学年の学生には、個別進路指導を適時おこない、就職担当者及び担任、講師と連携しながら学生の希望とスキル等を加味して進路決定まですすめている。学生の希望が学園の求人票にない場合でも学園のネットワークを利用し求人への掘り起こしも行っている。</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>きもの文化検定・色彩検定2級・和裁技術検定初級・3級きもの講師</p>
<p>(備考)(任意記載事項)</p> <p>その他、デザインコンテストやコンクールに出品</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
発達障害や精神疾患など持病により学習がうまくすすまない場合や登校できないなど。		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
出席状況や学習状況で問題がある学生については、保護者とも連絡をとり相談をしながら対応をしている。また、学習障害や精神的な課題を抱える学生については、専門機関や病院で定期的に診察してもらうなど学生生活と病気の克服の両立をはかり、難しい場合は休学等案内し、回復してから復学するように指導をしている。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
和裁科	120,000円	516,000円	88,000円	その他は教育充実費
和裁研究科	120,000円	516,000円	88,000円	その他は教育充実費
和裁専攻科	120,000円	516,000円	88,000円	その他は教育充実費
着物染織科	120,000円	960,000円	120,000円	その他は教育充実費
着物工芸科	120,000円	960,000円	120,000円	その他は教育充実費
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<a href="https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php">https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学園教職員で構成する自己点検自己評価委員会の取りまとめた自己評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会を行うことで、当学園に関係する学校関係者評価委員の多角的な意見をふまえて、より質の高い効果的な学校運営の改善に関する具体案をまとめ、それをもとに組織的かつ継続的な学園運営の改善活動を行うことを目指すとともに、学園の関係者に当学園の情報を開示し共有することで学園に対する理解と協力を促すこともあわせて目指していく必要がある。その結果、当学園の社会での認知を拡げるとともに当学園で学ぶ学生に対する教育の質を組織的かつ継続的な向上を実現し、学園の社会的な役割を高めていくことを学校関係者評価の基本方針とする。</p> <p>○学校関係者評価委員の選任区分 関係団体・企業委員、高等学校等委員、卒業生委員</p> <p>○評価項目 教育目標と本年度の重点目標の評価 ・教育理念・目的・育人人材像・学校運営・教育活動・多様な学生の受け入れ・産業界との連携・就職・進路・学生支援・卒業生支援・連携・施設・設備・学生の募集と受入れ・財務・法令等の遵守・自己評価・学校関係者評価・情報公開・地域にひらかれた学校づくり</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(一社) 日本和裁士会	2022. 7. 1 ~ 2024. 6. 30	関係団体・企業委員
奈良県職業能力開発協会	2022. 7. 1 ~ 2024. 6. 30	関係団体・企業委員
美芸学園高等専修学校	2022. 7. 1 ~ 2024. 6. 30	高等学校等委員
波衣庵	2022. 7. 1 ~ 2024. 6. 30	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<a href="https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php">https://ohhara.ac.jp/about/disclosure.php</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
<a href="https://ohhara.ac.jp/">https://ohhara.ac.jp/</a>